

# INDUSTRIAL WORLD CONFERENCE FOR THE CHEMICAL INDUSTRIES

26-27 June 2019, Istanbul, Turkey



UNION RIGHTS AND SAFE JOBS FOR ALL



## アクション・プラン

### 序文

このインダストリアル・グローバルユニオン化学産業世界会議は、最も脆弱な層を保護して労働者の権利を確保するグローバル・ガバナンス・システムの重要な団体、国際労働機関（ILO）の創立 100 周年に開催されている。

本世界会議は、仕事の未来に向けた ILO 創立 100 周年記念宣言を歓迎するが、労働運動の重要な要求ならびに暴力とハラスメントに対する歴史的な新しい国際条約は控え目に取り上げられている。

世界中の国々が、前例のないレベルの所得不平等、民主的空間の縮小、企業の力が大きすぎ、人民の力が小さすぎるといふ怒りの時代に直面している。世界中で労働者・労働組合の課題が増大しているため、すべての労働者のために基本的権利と保護を確保することが不可欠である。結社の自由、団体交渉権およびスト権は労働者にとって極めて重要である。

本世界会議は、労働安全衛生をディーセント・ワークの基礎として認め、ILO 基本的権利の枠組みに盛り込むことへの支持を確認する。

新しい条約に関して、本世界会議は、特に女性のために仕事の世界から暴力とハラスメントをなくさなければならないと考える。

本世界会議は、世界中の政治・経済・社会状況が労働組合と労働者にとってますます厳しくなっていると考える。絶え間ない労働法改定によって権限を制限する環境が広がっており、多くの国々で団体交渉の分権化が続き、結社の自由の権利を行使したいと考える労働者に対する障壁が高くなっている。スト権もさらに制限されるようになっており、使用者は労使関係に対して敵対的な姿勢を取る権限が強化されていると感じている。

化学・医薬品産業も、このような傾向の例外ではない。本世界会議は、トルコ、ブラジル、EU を離脱するイギリス、アメリカ、インドなど、これらの傾向におけるいくつ

かの紛争地域に特別の注意を払う。

インダストリアル・グローバルユニオンは、化学・医薬品産業のバリューチェーン全体で、世界の隅々で、国内企業・多国籍企業で労働者を代表している。

インダストリアル・グローバルユニオン化学部会は、このグローバルな闘いの一環として、この厳しい時期にこれまで以上に労働者の権利と民主主義を求めて声を上げ、断固とした態度を取ることを約束する。組合の力と国際連帯を強化し、労働者とその家族のために民主主義と平和、労働権、望ましい条件を確保できるようにする必要がある。

人口動態面および産業面のいくつかのメガトレンドによって、化学・医薬品産業は規模の面でも重要性の面でも、これからも世界中で成長し続けるだろう。人口増加、都市化の進展、世界の中産階級増大、万人への医薬品供給を求める圧力の高まりは、これらの関連メガトレンドの一部である。

化学部門における非常に重要なメガトレンドはインダストリー4.0 のもとの技術変化であり、これは部門全体で仕事の世界を転換していく。インダストリアル化学・医薬品部門は、この産業変化全体を通して労働組合を意思決定に参加させることを要求するとともに、組合員が技術的進歩の利益を得られるよう確保するために、生涯学習のような取り組みによる労働者の保護を最優先させる。

本世界会議は、気候変動が仕事の世界に大きな課題をもたらしていることにも留意する。気候変動の影響を緩和するために起こすべき行動に加えて、前回のポーランド COP 会議で採択されたシレジア宣言をめぐり、労働者にとって重要な議題もある。

特にインダストリー4.0 と気候変動を中心とするすべての転換について、インダストリアル化学部会は、公正な移行の必要性を予期しており、労働者とその家族、地域社会の権利と生活水準を保護し、質の高い持続可能な産業関連雇用を提供するために具体的な対応を要求する。

さらに、インダストリアルは企業・政府に対し、適切な公正移行基金を設立し、関連労働組合組織の代表が共同で管理して持続可能な産業雇用の保護・創出に利用するとともに、強力な社会的保護プログラムを補足するために、影響を受ける労働者向けに包括的・創造的な労働調整プログラムを導入し、今日の生産能力を保護して明日の生産能力を確立することを約束するよう要求する。

このアクション・プランを通して、インダストリアル・グローバルユニオンは、これらの変化のすべてを通して資本への対抗勢力の役目を果たせる強力な労働組合の存在に向けたロードマップの確保を目指す。

## アクション・プラン

世界各大陸の約 45 カ国の加盟全国組合およそ 70 団体から 230 人を超える代議員を集めて、2019 年 6 月 26～27 日にトルコのイスタンブールで会合を開き、

現在および将来の傾向と課題について議論・討議し、安全衛生、不安定雇用、公正な移行、インダストリー4.0、ネットワーク構築、組織化、戦略の調整といった労働問題を調べ、

すべての組合が共通の使用者、特に多国籍企業との共通の闘いに直面しており、すべての場所で労働組合の力と化学労働者の団結した声を強化しようと連帯して共闘に取り組んでいることを認識し、

2016年のリオデジャネイロ大会で支持されたインダストリアル・グローバルユニオンの5つの戦略目標・目的を考慮して、

化学産業世界会議は、この産業の課題に取り組むためのアクション・プランとして以下の項目を採択する。

## 1. 労働者の権利の擁護：

基本的権利を求める闘い：

- 化学・医薬品労働者が圧制的な政府・使用者との闘いの最前線に立っているという事実を踏まえて、インダストリアル・グローバルユニオンは、加盟組織による重点的行動において、効果的なキャンペーンにより、関連組織や他のキャンペーンと戦略的に提携しながら、世界的な力を行使する。
- インダストリアルは、世界中の組合を動員するグローバル・キャンペーンの展開によって、労働権侵害に対応する組合の能力を強化するとともに、国内・地域・国際連帯のネットワークを構築する。
- インダストリアルは、化学部門で引き続き取り組みを進め、労働者の結社の自由に対する権利、団体交渉権およびスト権の承認、安全で健康的な職場、あらゆる形態の職場内差別の根絶を目指す。

女性：

- インダストリアル・グローバルユニオンは、女性問題は労働組合の基本的な優先課題であると考えている。
- インダストリアル・グローバルユニオンは、化学産業の全分野で女性労働者の権利を保護・擁護するために行動を起こす。
- 部門の活動や会合で女性参画を改善するとともに、女性が直面している特定の問題を引き続き調べて優先順位を決めるために活動を実施する。
- インダストリアルは、化学産業のすべての活動で女性参画40%の目標を尊重するために必要なあらゆる努力を払う。書記局と加盟組織も、化学関連行事でバランスの取れた講演者の構成を確保するために同様に努力する。
- 本世界会議は、先ごろ受け入れられたインダストリアルの誓約「職場と組合で女性に対する暴力や嫌がらせを根絶」を評価・支持しており、この誓約を受け入れて実施するよう加盟組織に強く勧める。
- この部門のどこで女性が働いているかを調査することによって部門レベルで女性問

題を確認するとともに、部門別・ネットワーク別のアクション・プランに女性を統合し、部門別活動と企業別ネットワークへの女性参画を促進する戦略を採択するために努力を払う。

●インダストリアルは、男女の賃金格差を縮小するために加盟組合を支援し、職場における女性の地位向上を奨励してワーク・ライフ・バランスも促進するために積極的な行動を強化する。

安全衛生：

●化学産業世界会議は、労働安全衛生がこの部門の主要な優先課題であることを認識している。

●この部門は、すべての場所で労働者の安全衛生に関する認識と開放性を高めるよう業界に要求すべく取り組む。

●インダストリアルは、化学労働者のために安全で健康的な労働条件を達成し、GFAで強力かつ包括的な安全衛生規定を追求するために引き続き努力する。

●化学産業の使用者は、フルタイムの直接雇用従業員、サプライヤー、請負業者、下請業者、学生、トラック運転手、訪問者その他のいずれであるかにかかわらず、自社または子会社を代表して仕事を実施しているか、自社の現場に居合わせるすべての人の安全衛生の確保に全責任を負わなければならない。

●インダストリアル・グローバルユニオンは、作業に伴う危険をすべて知り、安全に作業を遂行するための教育・訓練を受け、報復を恐れずに危険な作業を拒否または停止し、すべての安全衛生対策の立案と実施において完全なパートナーになる労働者の権利を尊重するよう引き続き主張する。

## 2. 組合の力の構築：

組合組織化：

●組合員の組織化と保持は、化学・医薬品産業におけるすべてのインダストリアル・グローバルユニオン活動の最優先課題である。

●インダストリアル・グローバルユニオンは、この部門の加盟組織による組合組織化活動への支援を引き続き重視する。

●組織化と団体交渉プロセスを通してサプライチェーン/付加価値チェーン全体を私たちの取り組みに統合するために努力を払う。

●この部門のインダストリアル加盟組織は組織化キャンペーンにあたって互いに支援し合い、労働組合ネットワークは関連国の加盟組織と協力して組織化対象候補の非組合工場を確認し、確認された行動を実施する。

●インダストリアルは、グローバルな手段（GFA、組合ネットワーク）を利用して成長する意欲のある組合への支援・連帯によって、組織化が可能な環境を作るために最善の努力を払う。

●インダストリアルと加盟組織は、未組織労働者、不安定労働者、若者および女性の組織化を通して、組合員数の危機的な減少に取り組む。

●インダストリアルと加盟組織は、最優良事例に基づいて労働組合向けに教育・訓練を行い、知識や経験を交換し、組合間・地域間協力と地域を強化して合同訓練プログラムや活動を生み出す。

●若年労働者を勧誘・代表する組合の能力は極めて重要であるため、インダストリアル・グローバルユニオンは、若年労働者の積極的な組合参加を促進し、エネルギー産業で若年労働者を組織化して彼らの特別な懸念に対応しようとする組合の取り組みを支援する。

団結とグローバルな連帯の強化：

●インダストリアル・グローバルユニオンは、化学・医薬品産業で組合運動の分裂を克服して団結を確立するために引き続き取り組む。

●インダストリアルは、多国籍企業で加盟組織の組織化・勧誘努力を支援・強化することによって、国際レベルの連帯と協力を引き続き促進する。

●インダストリアルとこの部門の加盟組織は、強力かつ持続可能で民主的・代表的な独立労働組合の発展を引き続き支援する。

●インダストリー4.0の影響も含めた産業転換に伴い、能力強化に特に注意して化学・医薬品産業全体で部門横断的な協力を行う必要性が生じる。

●インダストリアルは、引き続き他のグローバル・ユニオンと協力しながら、サプライチェーンにおける同盟を促進する。

提言活動：

●インダストリアルは、引き続き他のグローバル・ユニオンやインダストリアル・ヨーロッパと協力しながら、各国政府や政府間機関、マルチステークホルダー・イニシアティブに働きかけ、すべての労働者のために安定した雇用、労働権および生活賃金を促進させることを目指す。

●二国間・国際貿易協定は化学産業の企業を取り巻く環境と労働者の労働条件に影響を与えるため、インダストリアルは、引き続き幅広い労働運動と協力しながら、貿易協定が公平と雇用の成長を促進し、労働者の基本的権利や環境基準、人権、民主主義を損なわないようにすることを要求していく。

### 3. グローバル資本への対抗：

キャンペーンおよび連帯行動：

●インダストリアル・グローバルユニオンは、引き続きグローバル企業別キャンペーンに関与し、この部門を支配している多国籍企業で組合の力を強化する。

●インダストリアル・グローバルユニオンは、企業による基本的権利の侵害への対抗における連帯に関する憲章に沿って、引き続き化学産業の紛争を支援し、連帯を表明する。

労働組合ネットワーク：

●インダストリアル・グローバルユニオンは、労働組合の存在感と力を強化するために、多国籍企業において世界・地域・全国レベルで、引き続き労働組合ネットワークを創出する。

●化学産業世界会議は、下記の労働組合ネットワークの強化を支援することを確認す

る。

○BASF、ソルベイ、ダウ・デュポン、ユニリーバ、サノフィ、武田、フレゼニウスの地域・グローバル労働組合ネットワーク。

○ラテンアメリカ（マクロ部門）・アジア太平洋地域化学部門ネットワーク

○グローバル製薬産業労組ネットワーク

○インド化学・医薬品部門労組プラットフォーム

グローバル枠組み協定（GFA）：

●インダストリアル・グローバルユニオンは、そのガイドラインとチェック・リストに沿って、化学・医薬品産業でグローバル枠組み協定（GFA）を交渉、締結および実施するために活動を続ける。

●化学産業世界会議は、インダストリアル・グローバルユニオンの目標を達成するための効果的な手段として、化学・医薬品産業でグローバル枠組み協定（GFA）の利用を促す。

●特に GFA は、締約企業が活動しているすべての国々で、労働者による組織化や団体交渉の努力を支援しなければならない。企業が約束を守らなかった場合は、「企業による基本的権利の侵害への対抗における連帯に関するインダストリアル・グローバルユニオン憲章」で確認された行動を起こす。

●インダストリアル・グローバルユニオンは、他の多国籍化学・医薬品企業とさらなる GFA を取り決める機会を求める。

●発案・交渉・実施プロセスにおいて労働組合ネットワークとキャンペーン、グローバル枠組み協定（GFA）との密接なつながりを確立するために、誠実な努力を払う。

●インダストリアル・グローバルユニオンは、GFA プロセスと国際的な社会的対話プロセスにおいて、姉妹グローバル・ユニオン、特にインダストリアル・ヨーロッパとの緊密な協力を維持・構築する。

#### 4. 不安定雇用との闘い：

●化学産業世界会議は、世界中であらゆる形態の不安定雇用と闘うとともに、永続的な直接雇用契約を促進するというインダストリアル・グローバルユニオンの約束を全面的に支持する。

●化学部門は、特に多国籍企業において世界・国家・地域レベルで、引き続きストップ不安定雇用のための行動に参加する。

●不安定雇用は化学部門における大きな問題として確認されているため、不安定雇用の利用を可能な限り制限するとともに下記を実現するために、引き続き努力を払う。

○サプライチェーン全体を通して不安定労働者（ブルーカラー、ホワイトカラー、男性および女性）を労働組合に組織化する。

○多国籍企業との GFA や社会的対話をグローバル・レベルで利用し、不安定雇用の利用を制限するとともに、影響を受ける不安定労働者を組織化して権利を確保する。

○可能な限り不安定労働者を労働協約（CBA）条項の対象に含め、不安定労働者向けの包括的な CBA を取り決める。

○加盟組織が地域別・多国籍企業別ネットワークを通して、不安定労働者の問題に取り組んだ経験を交換する機会を設ける。

○不安定労働者を労働協約の対象に含めることを制限する条項を撤廃するか、少なくとも最小限に抑えるために努力する。

○共同組織化キャンペーンや不安定雇用に反対する共同キャンペーンを実施する。

## 5. 持続可能な産業政策の創出：

- インダストリアル・グローバルユニオンの化学・医薬品産業部門は、この部門は潜在的に持続可能性が高いが、インダストリー4.0のもとでの製造業の新たな現実への移行にあたって起こる変化に焦点を当て続けなければならないことを認識している。
- この部門は、経済・産業・環境・人口動態・社会問題など各サブセクターの戦略的分析に基づき、仕事の未来にとっての主要課題として、新しい成長モデルを求めて引き続き闘う。
- 社会問題に行動の焦点を合わせるだけでなく、環境問題や経済問題も統合し、ステークホルダー・パネルを利用して労働者と地元住民のニーズや話題を取り上げる。
- インダストリアルと加盟組織は、化学産業における持続可能な産業政策の促進によって、持続可能な産業関連雇用の保護・創出に取り組む。
- インダストリアル・グローバルユニオンは、気候変動に敏感な変化しつつある経済において、女性と若年者が直面する課題の十分な認識、世代間の連帯、技能の評価・移転など、持続可能性の社会的側面の重要性を引き続き主張する。
- インダストリアルは、優良事例の共有によって持続可能な産業開発に関する独自のビジョンを立案・実施する加盟組織の能力を引き続き強化していく。
- 化学・医薬品部門は、相乗効果を求めて他の産業部門との共同作業を立案し、持続可能な産業政策を実施できるようにする。

### 第4次産業革命（インダストリー4.0）、デジタル化および仕事の未来：

- インダストリアル・グローバルユニオンは、全体的なプログラムの中で、デジタル化とインダストリー4.0が化学産業と化学部門労働者に与える影響について引き続き討議し、これらの変更を労働者と社会の全構成員にとって公正かつ正当な形で実施するよう求める私たちの要求の有効な答えを見つけ、一部の人々が他のすべての人々に損害を与えて資源や付加価値を占有しないようにする。
- 職場のデジタル化が進む中で、特に次のようないくつかの権利を勝ち取らなければならない。
  - 地方・地域・全国・国際レベルにおける労働者代表の情報・協議権
  - 教育・訓練に対する権利（より高度なデジタル技能や横断的技能が必要とされているため）
  - 職場と家庭における一定水準のプライバシー権
- インダストリー4.0に伴って出現する仕事の世界の新たな環境における安全衛生問題、特に精神的ストレスに細心の注意を払う必要がある。デジタル化によるマルチタスキングの増加が原因で、この問題は大幅に拡大すると予想される。
- 特に資格、訓練、再訓練、技能向上、再技能習得を中心に移行期間に対処するために、労働協約にもっと注意を払わなければならない。
- インダストリアル・グローバルユニオンは、情報や経験を移転・共有するとともに、この部門においてさまざまなレベルの活動で継続的に意識を高め、能力を強化していくべきである。
- 化学・医薬品産業のデジタル化がもたらす生産的なディーセント・ワークに対する課題に関するILOグローバル対話フォーラム（2018年12月10～12日、ジュネーブ）の結論をめぐり、強力なフォローアップを実施しなければならない。
- インダストリアル・グローバルユニオンは、この部門の多国籍企業にインダスト

リー4.0 の影響に関する問題を提起し、関係各社の世界的事業全体で一般原則の立案を目指すべきである。

**公正な移行：**

- 本会議は、公正な移行の目標は、すべての労働者とその家族、彼らが所属している地域社会、特に温室効果ガス削減努力や新技術導入の影響を受ける可能性のある産業の労働者や地域社会に、確かな未来を提供することである点を認識している。
- 本世界会議は、化学・医薬品労働者の持続可能な産業関連雇用の文脈で公正な移行を実現し、労働者とその家族、地域社会の権利と生活水準の保護を確保せよというインダストリアル・グローバルユニオンの要求への支持を再確認する。
- 公正な移行プログラムの一環として、多様化と持続可能な産業開発に向けた政策レベルの関与（インフラやクリーンエネルギー技術への大規模公共投資、失業者援助、教育・訓練の機会、新規雇用への優先的採用、個人のニーズに合わせた代替策など）を実施する。